



2つのスタック（IPv4 および IPv6）の設定

- [2つのスタック（IPv4 および IPv6）の概要（1 ページ）](#)
- [2つのスタック（IPv4 および IPv6）の前提条件（2 ページ）](#)
- [2つのスタック（IPv4 および IPv6）の設定タスク フロー（2 ページ）](#)

2つのスタック（IPv4 および IPv6）の概要

SIP ネットワークが IPv4 と IPv6 の両方のスタックに設定されている場合、SIP デバイスは次の各シナリオのコールを処理できます。

- コール内のすべてのデバイスが IPv4 のみをサポートします。
- コールに含まれるすべてのデバイスは IPv6 のみに対応しています。
- コール内のすべてのデバイスは、IPv4 と IPv6 の両方のスタックをサポートしています。このシナリオでは、システムはシグナリング イベントの [シグナリングの IP アドレッシングモード設定（IP Addressing Mode Preference for Signaling）] 設定とメディア イベントの [メディアの IP アドレッシングモード設定（IP Addressing Mode Preference for Media）] エンタープライズ パラメータを設定することで、IP アドレスのタイプを判別します。
- 1つのデバイスで IPv4 のみをサポートし、他のデバイスで IPv6 のみをサポートしている。このシナリオでは、Unified Communications Manager は、2つのアドレッシングタイプ間でシグナリングを変換するために、コールパスに MTP を挿入します。

SIP デバイスとトランクの場合は、代替ネットワーク アドレス タイプ（ANAT）を設定すると、2つのスタック サポートを有効にできます。ANAT が SIP デバイスまたはトランクに適用されると、IPv4 と IPv6 の両方のアドレスが使用可能な場合は、デバイスまたはトランクが送信する SIP シグナリングに両方のアドレスが含まれます。ANAT により、エンドポイントは IPv4 専用と IPv6 専用の両方のネットワークでシームレスに相互運用できます。

2つのスタック (IPv4 および IPv6) の前提条件

IPv6 スタックをサポートするには、まず Cisco Unified Communications Manager を設定する必要があります (デフォルトでは IPv4 が有効になっています)。これには、メディアとシグナリングの IP アドレッシング設定の設定も含まれます。設定の詳細については、[IPv6 の設定タスクフロー](#)を参照してください。

2つのスタック (IPv4 および IPv6) の設定タスクフロー

IPv4 と IPv6 の両方のアドレス指定を同時にサポートするように SIP デバイスとトランクを設定するには、次のタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	SIP プロファイル用 ANAT の設定 (2 ページ)	IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートする SIP プロファイルを設定します。
ステップ 2	SIP フォンへの ANAT の適用 (3 ページ)	ANAT 対応 SIP プロファイルを SIP 電話に適用します。これにより、SIP phone は IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートできます。
ステップ 3	SIP トランクへの ANAT の適用 (3 ページ)	ANAT 対応 SIP プロファイルを SIP トランクに適用します。これにより、トランクが IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートできるようになります。
ステップ 4	サービスの再起動 (4 ページ)	IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートするようにシステムを設定した後、重要なサービスを再起動します。

SIP プロファイル用 ANAT の設定

この手順を使用すると、代替ネットワークアドレスタイプ (ANAT) をサポートする SIP プロファイルを設定できます。このプロファイルを使用する SIP デバイスおよびトランクは、IPv4 専用と IPv6 専用のネットワーク間でシームレスに相互運用できます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIPプロファイル (SIP Profile)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかを実行します。
- 新しい SIP プロファイルを作成するには、[新規追加] をクリックします。
 - [検索 (Find)] をクリックして、既存の SIP プロファイルを選択します。
- ステップ 3** [ANAT 有効化] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [SIPプロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンライン ヘルプを参照してください。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
- SIP プロファイル SIP 電話または SIP トランクに適用して、これらのデバイスが IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートできるようにする必要があります。
-

SIP フォンへの ANAT の適用

この手順を使用すると、SIP 電話に代替ネットワーク アドレス タイプ (ANAT) 設定を適用できます。ANAT が有効な場合は、電話は IPv4 専用と IPv6 専用の両方のネットワークと通信できます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM 管理から、[デバイス] > [電話機] を選択します。
- ステップ 2** 既存の電話機を選択するには、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** [SIPプロファイル (SIP Profile)] ドロップダウン リスト ボックスから、ANAT を有効にした SIP プロファイルを選択します。
- ステップ 4** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
-

SIP トランクへの ANAT の適用

次の手順を使用して、オルタナティブネットワークアドレスタイプ設定を SIP トランクに適用します。これにより、SIP トランクが IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートできるようになります。



(注) SIP トランク設定オプションの詳細については、[SIP トランクの設定](#)を参照してください。

手順

- ステップ1 Cisco Unified CM Administration から、**[デバイス (Device)]** > **[トランク (Trunk)]** を選択します。
- ステップ2 **[検索 (Find)]** をクリックして、既存の SIP トランクを選択します。
- ステップ3 **[SIPプロファイル (SIP Profile)]** ドロップダウン リスト ボックスから、ANAT を有効にした SIP プロファイルを選択します。
- ステップ4 **トランク設定** ウィンドウの残りのフィールドをすべて入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ5 **[保存]** をクリックします。

サービスの再起動

IPv4 と IPv6 の両方のスタックを同時にサポートするようにシステムを設定した後、重要なサービスを再起動します。

手順

- ステップ1 Cisco Unified Serviceability にログインして、**[ツール (Tools)]** > **[コントロール センター - 機能サービス (Control Center - Feature Services)]** を選択します。
- ステップ2 次のそれぞれのサービスに対応するチェックボックスをオンにします。
 - Cisco CallManager
 - Cisco CTIManager
 - Cisco Certificate Authority Proxy Function
 - Cisco IP Voice Media Streaming App
- ステップ3 **再起動 (Restart)** をクリックします。
- ステップ4 **OK** をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。